

2021年度 日本頭蓋顎顔面外科学会

専門医認定試験

(お願い)

座席の指定はありません。

前方から順に着席してください。

試験時間	16:30	～	17:00
------	-------	---	-------

1. 頬骨骨折に随伴し得る症状として、合致しない
患者の訴えはどれか

- a) 目が開きにくい
- b) 下口唇がしびれる
- c) 頬がしびれる
- d) 口が開きにくい
- e) 噛んだ感じがおかしい

2. 眼窩周囲骨折に対する眼窩底へのアプローチにおいて、術後眼瞼外反が起こる可能性が高いものはどれか

- a) 睫毛下切開法
- b) 瞼板下切開法
- c) 下眼瞼切開法
- d) 結膜切開法
- e) 経上顎洞法

3. Blowout fractureの臨床所見について正しいのはどれか、
2つ選べ

- a) Traction test (Forced duction test) 陽性
- b) 内眼角の鈍化
- c) 瞼裂拡大
- d) 外眼角部の下垂
- e) 眼球陥凹

4. Obwegeser-Dal Pont法の骨切り線で誤りを2つ選べ

- a) 下顎枝内側（舌側）水平骨切り
- b) 下顎枝前縁矢状骨切り
- c) 下顎枝垂直骨切り
- d) 下顎体部外側（頬側）垂直骨切り
- e) オトガイ水平骨切り

5. 顎裂骨移植について誤りを2つ選べ

- a) 目的に歯の萌出誘導がある
- b) 目的に歯の顎裂部への移動がある
- c) 移植骨として腸骨の皮質骨を用いることが多い
- d) 手術時期は、披裂側犬歯が萌出する前のことが多い
- e) 矯正歯科との連携は移植骨の生着が得られてから行う

6. 頭蓋縫合早期癒合症について誤りを2つ選べ

- a) 三角頭蓋は、前頭縫合の早期癒合により生じる
- b) Crouzon症候群では、通常四肢の形態異常を伴う
- c) Pfeiffer症候群の発症には、FGFR遺伝子が関連する
- d) 頭蓋内圧亢進例は、1歳以下での早期手術の適応となる
- e) 頭位性斜頭には、内視鏡補助下での低侵襲手術が適応される

7. 眼瞼悪性腫瘍切除後の眼瞼再建に関して、誤りはどれか

- a) 上下眼瞼全幅の全層欠損では、遊離前腕皮弁の適応がある
- b) 上眼瞼の2/3の全層欠損では、耳介軟骨再建の適応がある
- c) 下眼瞼結膜の広範な欠損には、口腔内の粘膜移植の適応がある
- d) 下眼瞼の1/4の幅の全層欠損では、欠損部の直接縫合はできない
- e) 上眼瞼の2/3の幅の全層欠損では、下眼瞼からの交叉皮弁が有用である

8. 顔面の美容外科手術で誤りはどれか

- a) フェイスリフトは最近、施術数の9割以上が非切開による術式である
- b) 日本で最も多いのは眼瞼手術で、そのうちの約8割は重瞼術が占める
- c) 外鼻形成術で多用される軟骨下切開アプローチは、外側鼻軟骨下縁に沿った切開である
- d) 眼窩脂肪は、上眼瞼で2つ、下眼瞼で3つのコンパートメントに別れる
- e) 下顎の輪郭形成において後下顎静脈を損傷した場合、直視下での止血は困難である

9. 鼻咽腔閉鎖に最も関与する筋はどれか。 2つ選べ

a) 口蓋帆張筋

b) 口蓋舌筋

c) 口蓋帆挙筋

d) 顎二腹筋

e) 上咽頭収縮筋

10. 上顎骨低形成の咬合改善を目的としてLeFort I骨切り術を適用した。セファログラム上で前方に移動するのはどれか

- a) Sella
- b) Nasion
- c) Orbitale
- d) Pogonion
- e) Posterior Nasal Spine